

EXCELLENT & DYNAMIC



2023年度 中間決算概要

代表取締役専務執行役員
管理本部長

豊原 浩



金額は億円未満を四捨五入しております。

EXEDY
株式会社 エクセディ

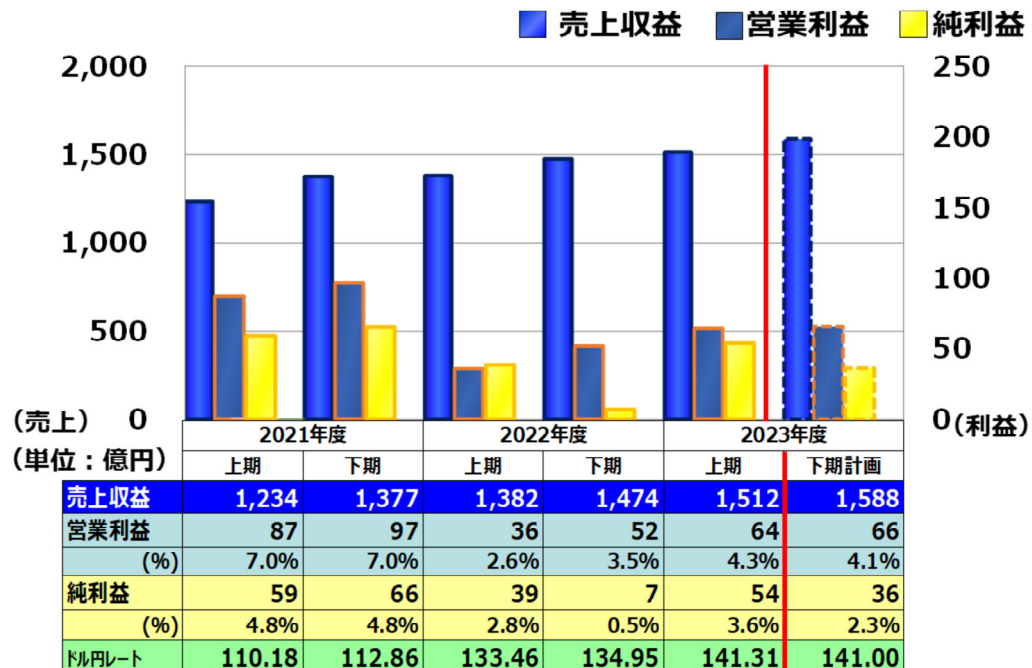
株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

1 | 19

2023年度上期（2023年4月1日～2023年9月30日）の決算概要、および2023年度下期及び通期（2023年4月1日～2024年3月31日）の見込についてご説明申し上げます。

営業成績

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来



株式会社エクスセディ管理本部 | 2023/12/26

2 | 19

【営業成績】

連結売上収益、営業利益、純利益の推移でございます。

2023年度上期は、ATセグメントを中心とした受注量回復に加え、円安進行による外貨建て売上の増加及び原材料価格上昇の顧客への転嫁により、売上収益は前年同期比9.4%増の1,512億円となりました。

利益面では、原材料価格他生産コストの上昇はあるものの、売上収益の増加などにより、営業利益は前年同期比80.0%増の64億円、純利益（親会社の所有者に帰属する部分）は、前年同期比38.8%増の54億円となりました。

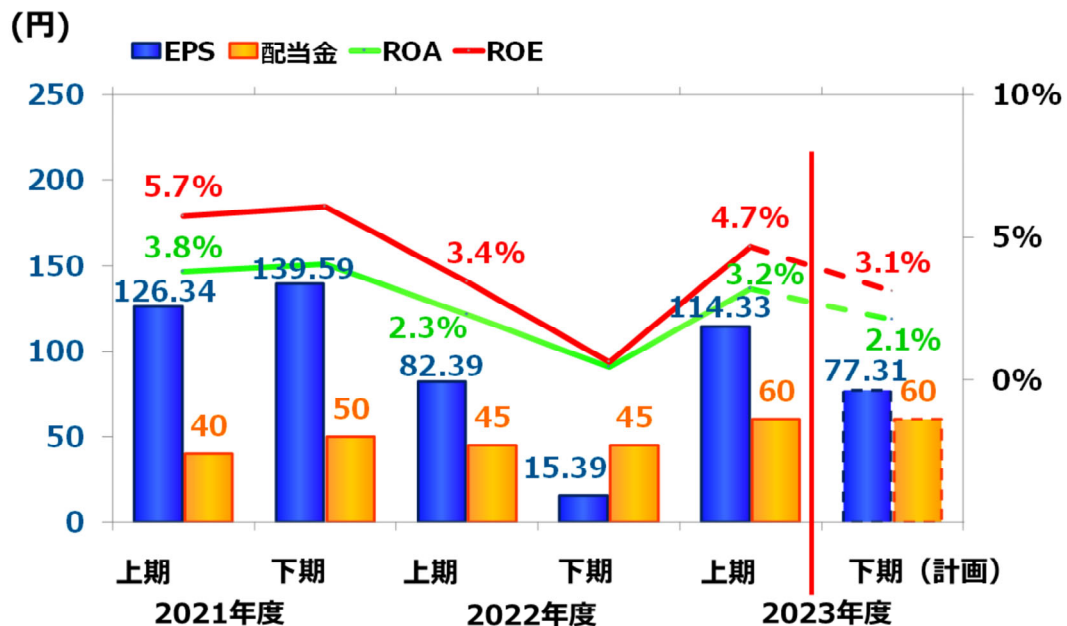
2023年度下期においては、中国、日本の受注増、原材料価格上昇の顧客への転嫁により、売上収益は上期比5.0%増の1,588億円となる見込みです。

一方、利益面につきましては、売上収益増加の影響により、営業利益は上期比2.2%増の66億円となる見込みです。純利益（親会社所有者に帰属する部分）については、営業利益は増加ながら、上期の為替差益を下期は見込まず、上期比 32.4%減の36億円を見込んでおります。

従いまして、2023年度通期の見込みとしましては、売上収益 3,100億円（前連結会計年度比 8.5%増）、営業利益 130億円（同 48.4%増）、純利益（親会社所有者に帰属する部分） 90億円（同 96.1%増）となる予定です。

指標推移

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来



株式会社エグゼディ管理本部 | 2023/12/26

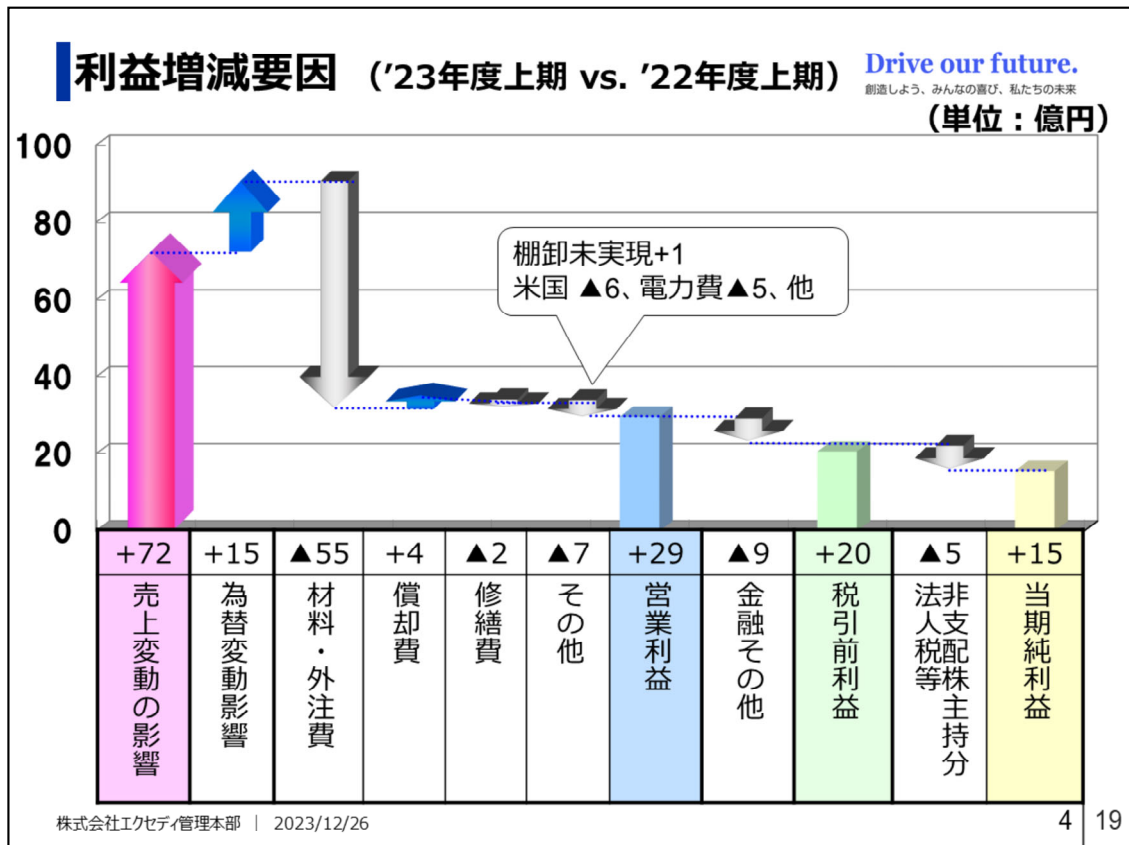
3 | 19

【指標推移】

ROA、ROE及び1株当たり利益（EPS）、配当金の推移でございます。

ROE、ROA、EPSにつきましては、2023年度上期においては前年同期比で増益により上昇（増加）となり、2023年度下期は上期比で減益により低下（減少）となる見込みです。

配当につきましては、2023年度上期60円、下期60円の合計120円とさせていただく予定です。

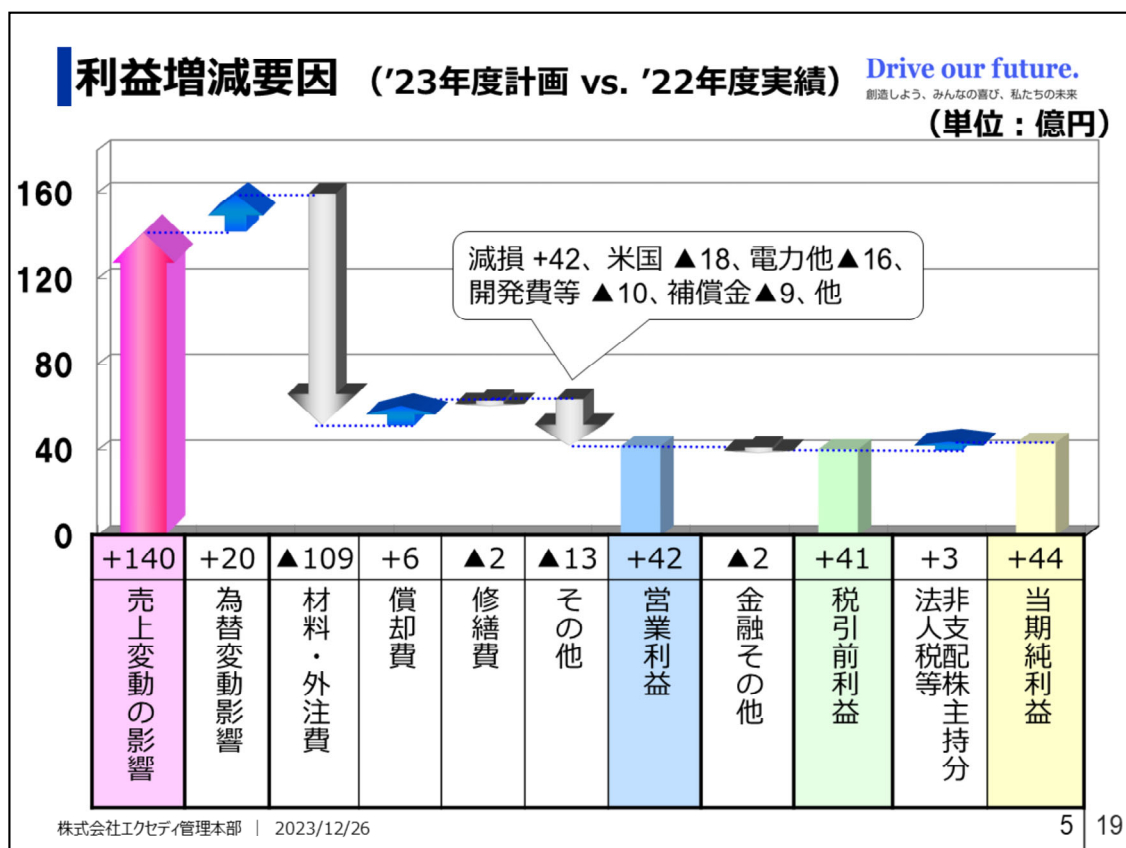


【利益増減要因（23年度上期実績vs22年度上期実績）】

2023年度上期対2022年度上期の利益増減要因でございます。

市況変動による原材料価格及び電力費の増加といったコスト上昇影響はあるものの、販売価格への転嫁により影響を相殺、受注増加及び円安による利益の押し上げ効果により、前期比29億円の営業利益増加となりました。

税引前利益につきましては、営業利益の増加があるものの、為替差益が前期より減少したことにより、前期比20億円の増加に止まりました。



【利益増減要因（23年度通期計画vs22年度通期実績）】

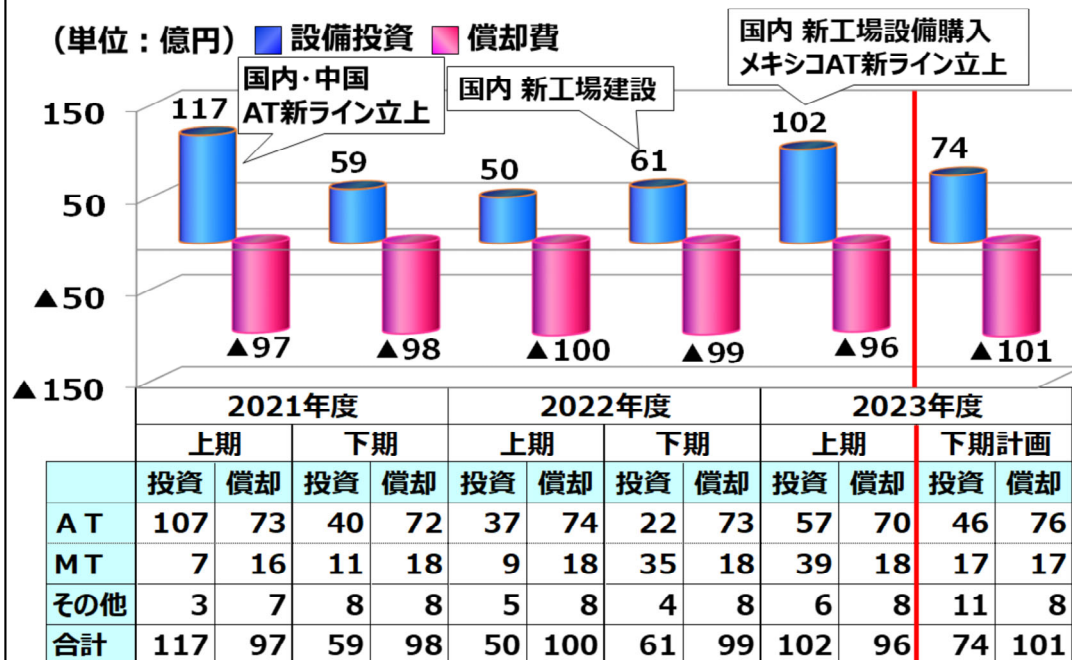
2023年度通期計画対2022年度通期実績の利益増減要因でございます。

通期に関しても、上期と同様の傾向となりますが、原材料価格の更なる上昇、電力料金等の生産コスト増加を見込む一方、受注の増加及び円安影響・顧客への売価転嫁などが利益を押し上げる見込みです。

その他、昨年度当社および子会社にて計上した固定資産の減損が当期はなくなることによる増益はあるものの、米国子会社での採算悪化、開発費の増加、及び前期の補償金収益を今期は見込んでいない等の減益要因があり、営業利益は前期比42億円の増加となる見込みです。

設備投資

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

6 | 19

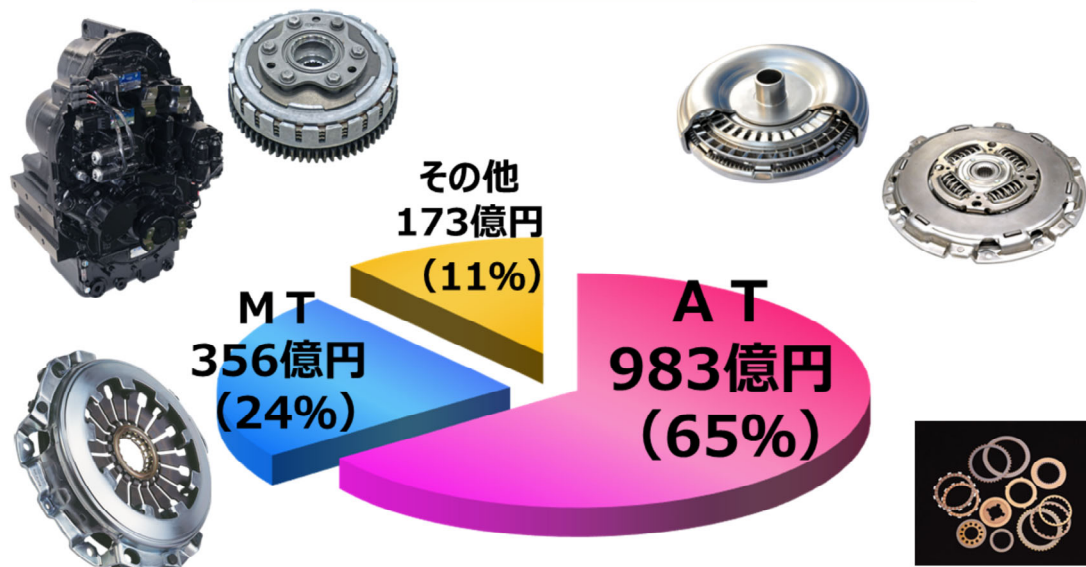
【設備投資】

設備投資（稼働ベース）と減価償却費の推移でございます。

2023年度上期においては、主にEXD本体での新工場向けの設備購入及びメキシコ子会社での新製品生産ライン立上げ等により102億円の投資、減価償却費は96億円となりました。

2023年度下期は、国内子会社における省エネ関連等の投資を予定しております。

2023年度上期 連結売上 1,512億円



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

7 | 19

【事業領域】

ここから、弊社グループの事業セグメントについて紹介させていただきます。

AT 2023年度上期 連結売上

983億円
前年同期比+12%

構成比 65%



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26



低速ロックアップ
トルクコンバータ



プラグインハイブリッド
車用ダンパー



湿式クラッチディスク



クラッチアッシー

8 | 19

【AT事業製品】

弊社の事業セグメントの中で売上収益が一番大きいのはAT（自動変速装置関連事業）でございます。

2023年度上期の売上収益は983億円、連結売上収益総額に占める構成比は65%です。

AT事業の製品は4輪のAT車で使用されるトルクコンバータ、ダンパー、クラッチ部品などがございます。ハイブリッド車用のダンパーもこのカテゴリーの製品となります。

MT 2023年度上期 連結売上

356億円
前年同期比 +2%

構成比 24%



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

9 | 19

【MT事業製品】

もう一つの事業セグメントはMT（手動変速装置関連事業）でございます。
2023年度上期の売上収益は356億円、連結売上収益総額に占める構成比は24%です。

MT事業の製品は、4輪のMT車で使用されるクラッチでございます。

【その他事業製品】

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

その他 2023年度上期 連結売上

173億円
前年同期比+12%

構成比 11%



2 輪車用クラッチ

ラフテレーンクレーン用
トランスミッション

建設機械・産業車両用製品



トルクコンバータ

油圧クラッチ

株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

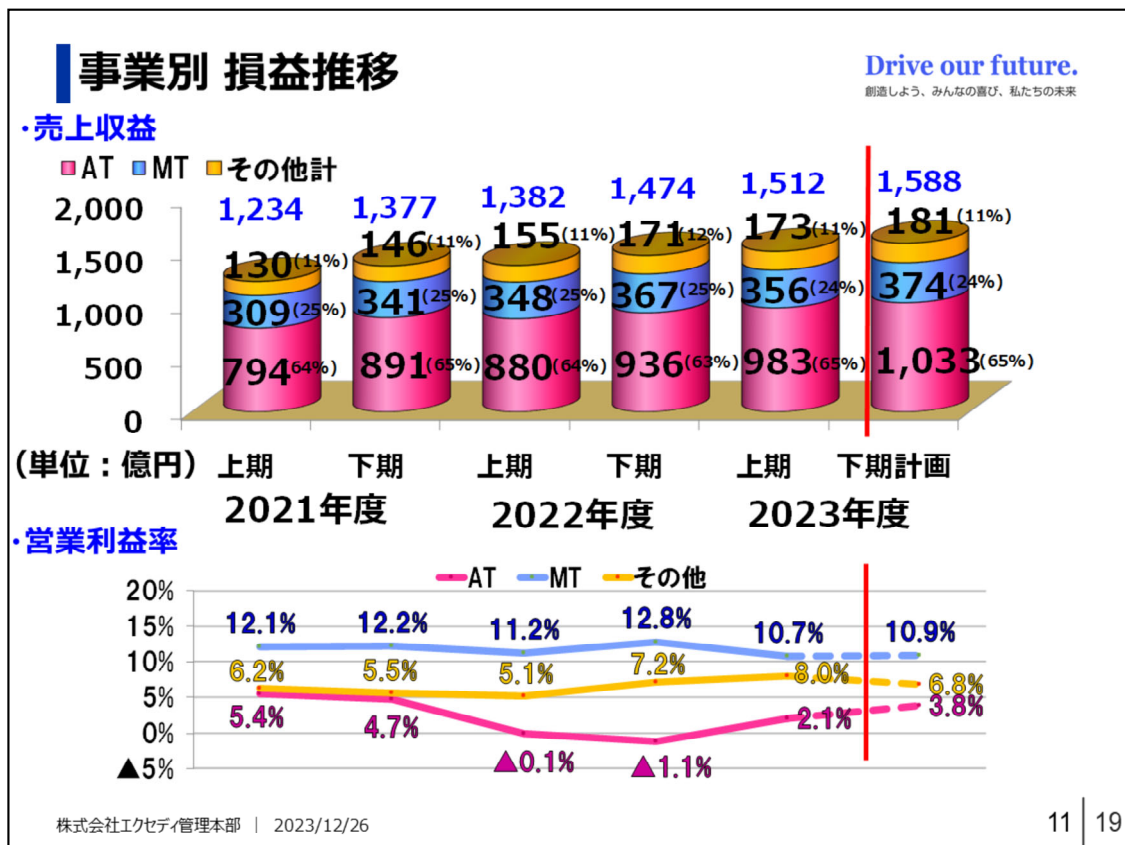
10 | 19

【その他事業製品】

AT事業にもMT事業にも属さない事業をその他事業としております。

2023年度上期の売上収益は173億円、連結売上収益総額に占める構成比は11%です。

その他事業の製品は、建設用・産業用機械向けの駆動伝導装置や2 輪車用クラッチ、運送業などを含んでおります。



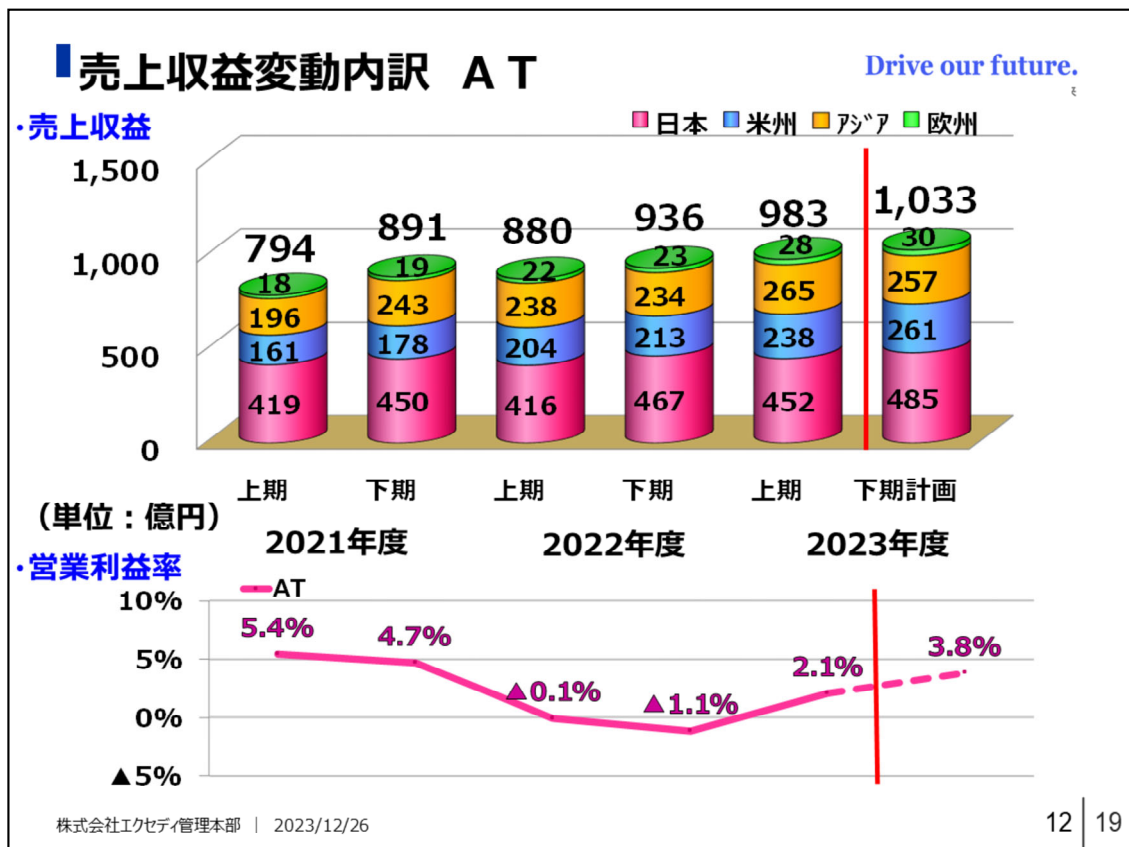
【事業別 損益推移】

事業セグメント別の売上高と営業利益率の推移でございます。

2023年度上期は、前年同期比で受注増加、為替影響及び鋼材価格上昇の顧客への転嫁影響等により全ての事業セグメントにおいて増収となりました。

利益については、主に受注の増加によりATセグメントは営業利益率上昇となりましたが、受注減少及び鋼材価格上昇影響によりMTセグメントは営業利益率は低下となりました。

2023年度下期においては、各事業セグメントとも上期比で増収となり、受注の増加が見込まれるため、MT・ATセグメントにおいては利益率上昇が見込まれます。



【売上収益変動内訳 AT】

AT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものでございます。

2023年度上期においては、全地域で前年同期比増収となり、主に日本・中国での受注増加により利益率も上昇となりました。

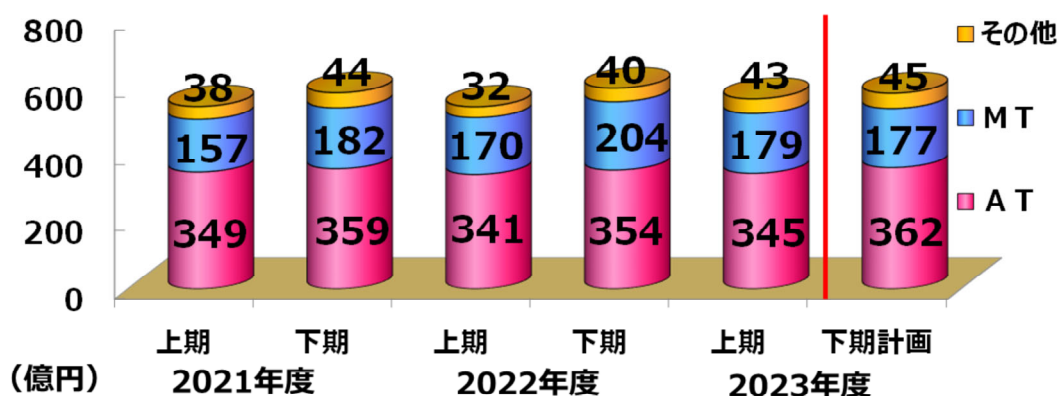
2023年度下期においては、日本での受注増を見込んでおり、原材料価格上昇の影響はあるものの、顧客への転嫁を進めることで影響を抑制、不採算会社での合理化を進めることにより、利益率上昇を見込んでいます。

エクセディ（EXD）

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

（単位：億円）

期 間	2021年度		2022年度		2023年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	544	584	544	598	567	583
営業利益(率)	30 5.6%	33 5.7%	3 0.6%	28 4.8%	14 2.5%	6 1.0%
税引前利益(率)	64 11.8%	44 7.6%	73 13.5%	25 4.1%	77 13.6%	8 1.3%
純利益(率)	53 9.7%	34 5.9%	64 11.7%	21 3.5%	70 12.4%	5 0.8%



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

13 | 19

【エクセディ（EXD）】

ここからしばらく、AT事業セグメントの主要各社の業績推移をご覧ください。
まず、弊社エクセディでございます。

2023年上期は前年同期比で増収となり、2023年度下期についても上期より増収となる見込みです。

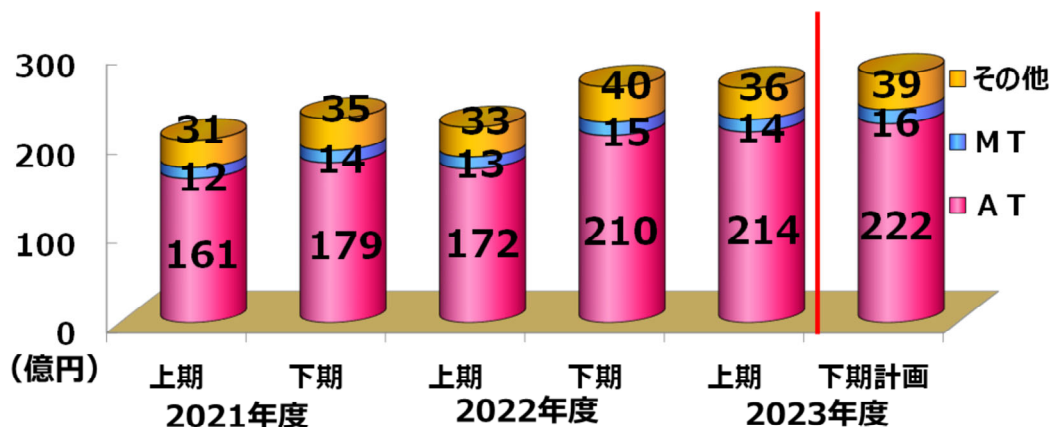
利益については、2023年度上期は受注増加の影響により前年同期比で利益は増加、2023年度下期についても受注が増加するものの、更なる原材料価格上昇の影響を見込むため、利益率は低下する見込みです。

ダイナックス（DNX）

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

(単位：億円)

期 間	2021年度		2022年度		2023年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	204	228	219	264	263	277
営業利益(率)	18 9.0%	20 8.9%	12 5.5%	31 11.6%	21 7.9%	12 4.5%
純利益(率)	15 7.5%	19 8.3%	14 6.2%	19 7.1%	19 7.2%	9 3.2%



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

14 | 19

【ダイナックス（DNX）】

弊社グループ最大の子会社、北海道にあるダイナックスでございます。

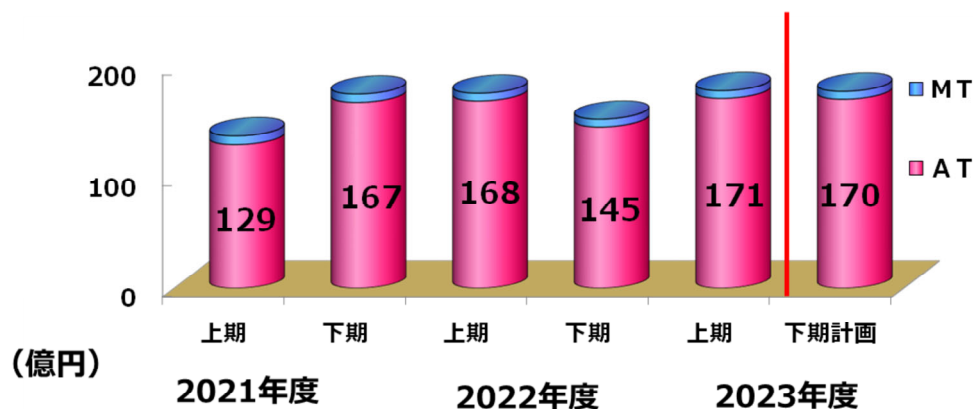
2023年度上期は、EXDと同様受注上昇の影響により、前年同期比で増収増益、下期は上期比で増収ながら、更なる原材料価格上昇の影響を見込むため、利益率は低下する見込みです。

エクセディ ダイナックス 上海（EDS）

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

(円貨：億円 外貨：百万元)

期 間	2021年度		2022年度		2023年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	137 (805)	175 (969)	176 (886)	152 (779)	178 (898)	177 (896)
営業利益(外貨額)	7 (41)	18 (99)	5 (25)	4 (21)	2 (9)	5 (27)
純利益(外貨額)	4 (22)	13 (72)	4 (19)	▲2 (▲9)	4 (20)	3 (15)



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

15 | 19

【エクセディダイナックス上海（EDS）】

中国、上海に所在するエクセディダイナックス上海でございます。

中国拠点については、2022年度上期は第一四半期においてはロックダウンの影響により売上が大きく減少、ロックダウン解除後に受注も回復となりましたが、2023年度上期は中国市場のガソリン車需要の低下により受注は低調となり、売上は微増に留まりました。

利益面では、前年度一過性の補償受取などがありましたが、それがなくなることにより営業利益は減少となりました。

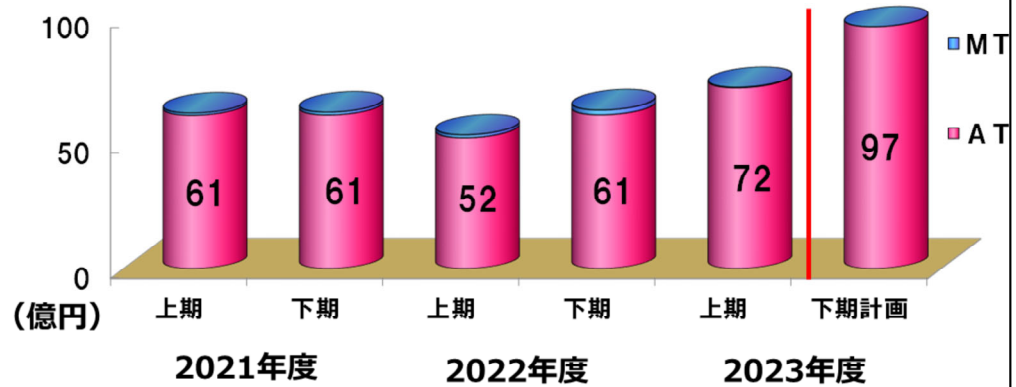
2023年度下期は市場の回復は見込めず上期比若干の減収となる見込みです。利益面については、受注に合わせた合理化を進めることにより営業利益増加を見込みます。

エクセディ ダイナックス メキシコ (EDM)

Drive our future.
創造しよう、みんなの喜び、私たちの未来

(円貨：億円 外貨：百万USD)

期 間	2021年度		2022年度		2023年度	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期計画
売上収益	62 (56)	63 (54)	53 (40)	63 (47)	72 (51)	97 (68)
営業利益(外貨額)	▲0 (▲0)	▲4 (▲3)	▲2 (▲1)	10 (8)	▲3 (▲2)	3 (2)
純利益(外貨額)	0 (0)	▲4 (▲2)	▲2 (▲1)	10 (7)	▲1 (▲1)	2 (2)



株式会社エクセディ管理本部 | 2023/12/26

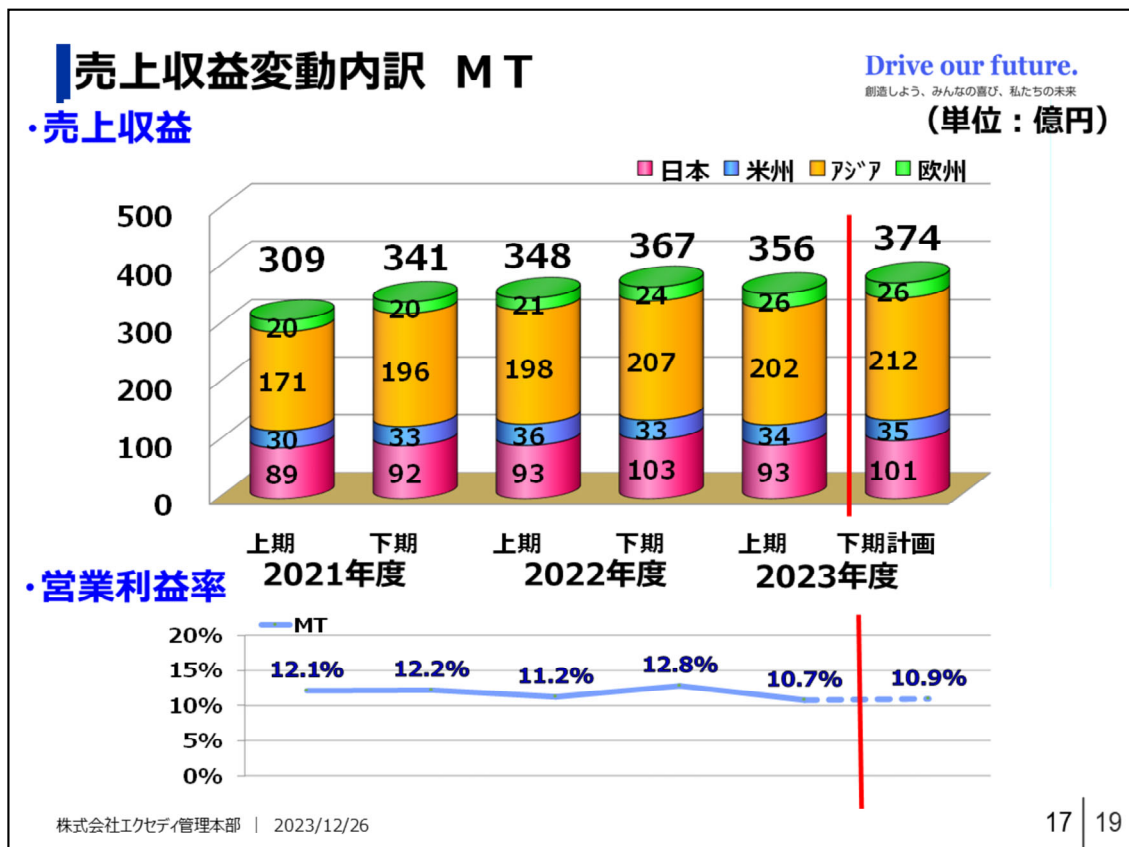
16 | 19

【エクセディダイナックスメキシコ (EDM)】

メキシコ、アグアスカリエンテスにあるエクセディダイナックスメキシコです。

2023年度上期は新規製品の量産開始により前年同期比増収ながら、企画台数に対し受注量が不足しており、また、立上げ費用の計上などもあり赤字幅拡大となりました。

2023年度下期は新規製品の販売量増加により増収増益を見込みます。



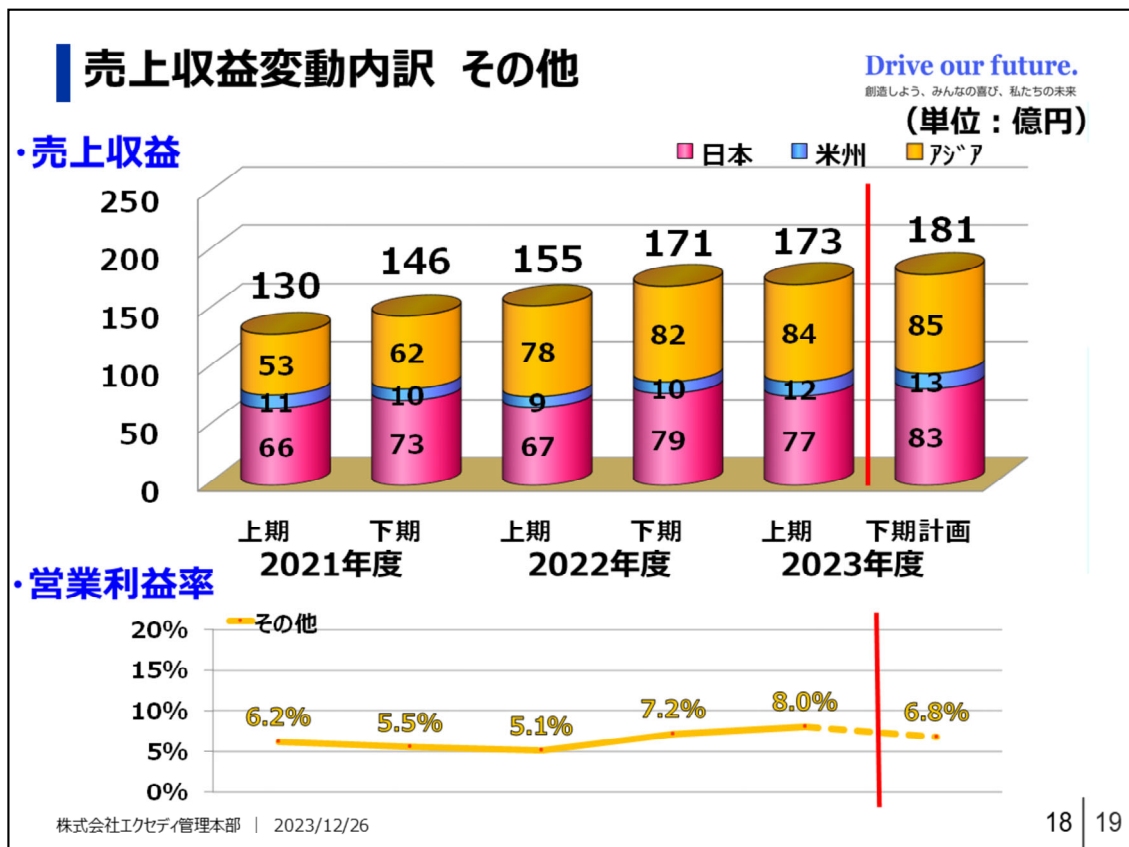
【売上収益変動内訳 MT】

MT事業セグメントの売上収益を地域別に見たものでございます。

2023年度上期は、アジア欧州地域で前年同期比増収ではあるものの、為替及び原材料価格の上昇影響の販売価格への転嫁によるものであり、受注は減少となりました。

また受注の減少及び、原材料価格上昇等により営業利益率は低下しました。

2023年度下期は、日本アジア地域で収益は増加、受注の増加により利益率も若干改善の見込みです。



【売上収益変動内訳 その他】

その他事業セグメントの売上収益を地域別に見たものでございます。

2023年度上期は、アジア地域の2輪・日本のTSで前年同期比増収、増収の影響により営業利益率は上昇しました。

2023年度下期は、アジアの2輪を中心に上期比さらに増収となる見込みではあるものの、原材料価格の上昇等により、営業利益率は低下する見込みです。

ご清聴ありがとうございました。



以上、2023年度上期の決算概要、および2023年度下期及び通期の見込についてご説明申し上げました。

ありがとうございました。

なお、本資料以外にも下記の資料を公開しておりますので、ご覧ください。

- ・ 2023年度中間決算報告：弊社社長の吉永より、中期的な数量見込や長期的な取り組み内容などについてご説明申し上げます。
- ・ EXEDY NOW：連結・単体の財務諸表やグループ各社の財務数値などを記載したデータブックでございます。